

# 有年大池

(うねおおいけ)



堤体から上流側を望む



有年地区近隣は自然景観が豊かである。

木造の  
斜樋管理建屋



## ため池の概要

### □ため池の所在地

兵庫県赤穂市

### □ため池の特徴

有年大池は有効貯水量28万 $m^3$ 、水田約35haを潤すため池で、周辺部は、溪流の水辺と森林の中で多くの小鳥や植物に触れあうことができる空間となっており、地域の人々に安らぎと潤いを与えています。

また、安土桃山(天正)時代の風情を残し、優れた景観を呈していることから、平成20年には映画「BALLAD 名もなき恋のうた」のロケ地に選定され話題を集めました。

有年大池は、もともと戦中戦後の混乱期に、国の食糧自給強化計画に基づき、農地開発営団事業によって建設(S16～S28)され、人力主体で工事が行われ、終戦後には囚人も動員して実施されました。

池には、国内で最も古い側溝式洪水吐(洪水を安全に流すため、ため池の横に設けられた排水施設)が設置されています。

## 関連情報

# 大成池

(おおなりいけ)



全景(堤体に向かって)



石碑と親水護岸



カヌー体験教室

## ため池の概要

### □ため池の所在地

兵庫県たつの市

### □ため池の特徴

大成池は標高410mにあり、山上の三大ため池(大成池・新池・亀の池)のひとつで、三段溝の堅固な石垣で築かれており、かんがい面積は115haに及んでいます。

平成10年度には、堰堤や管理道路のほか、水に触れ合えるよう親水護岸が整備され、豊かな自然環境の中で野外レクリエーションを楽しむことができ、また動植物や地質など自然を学べる場となっています。

サマーフェスティバルinレイク大成として、「自然と親しむ」をテーマに子供たちの自然体験教室(カヌー体験教室と清掃)を開催して、ため池の役割の理解を深めるとともに、市内小中学生と地域住民との交流を図っています。

## 関連情報

# 大町池

(おおまちいけ)



ため池及び堤体の全景(芝桜にて池名、堤体に鯉のぼりが泳ぐ)



大町公園より堤体を望む。噴水(池の水利用)で憩う。

## ため池の概要

### □ため池の所在地

兵庫県朝来市

### □ため池の特徴

大町池は貯水量14.3万 $m^3$ を有し、かんがい面積90haにも及ぶ重要なため池です。周囲の山々や田園地帯の風景に溶け込み、池を中心とする大町公園は地元住民の憩いの場として広く利用されています。

平成7年度、ため池法面に住民が芝桜の植栽に取り組んだのをはじめ、近くの山々で採った藤の苗木を育てて藤棚を整備し、直径5mもある水車も住民自ら作りあげました。

また、地域の子どものアイデアを活用し、噴水広場の整備を行うなど、大人から子どもまでが地域づくりに参画しています。

山陰随一という藤まつり時には、京阪神から2週間で約6万5千人の来客もあり、都市住民との交流も行われています。

## 関連情報

# 永郷池

(ながさといけ)



全景



ため池周辺の風景

## ため池の概要

### □ため池の所在地

兵庫県丹波市

### □ため池の特徴

永郷池は、地域の水田約50haを潤すため昭和25年に築造されました。

大正の中頃より、長尾の地にため池を築造することが急務とされ、「長尾新池築造記録」には「大正13年の如きは殆ど空前と云はるる大旱魃にて、収穫皆無」と築造に至った理由が記録されています。築造時は区民総出で作業を行い、就労延べ人数5万人以上、総工費500万円余り(当時)、期間10年を要したとされています。

池は丹波高原アルペン登山ルート、起点付近に位置しており、多くの登山客にも親しまれています。

平成18年には地元の小学校と周辺住民が一緒になってマツバギクの植え込み作業を実施し、その様子は新聞でも報道されました。

## 関連情報

# 椎谷池

(しいたにいけ)



緑に囲まれ、管理の行き届いたため池



集落の奥に位置する山に囲まれた静閑な谷地



巣塔にとまったコウノトリ



コウノトリの巣塔の設置

## ため池の概要

### □ため池の所在地

兵庫県豊岡市

### □ため池の特徴

椎谷池は、特別天然記念物「コウノトリ」が飛来するため池で、近年珍しくなった日本の在来種が多く生息する豊かな自然環境が守られています。

池は、明治半ば新田開発のために築造され、地域の貴重な農業用水源として利用されてきました。

現在、豊岡市は「コウノトリと共生する環境創造型農業」の推進に力を入れており、餌場確保のため、冬季も田んぼに水をためるなど新たな取り組みが始まっています。

地域でも池を「地域の財産」と捉え、ため池管理者と地域の非農家等で構成する「椎谷ため池たちばな会」を設立し、「みんなのこころを結び・つないでいく憩いの空間づくり」を目標に保全活動を行っています。

また、地域住民による憩いの公園づくり（サクラの植樹やコウノトリ巣塔の設置）、小学校による環境学習（ホタルの放流）など地域活性化の取組も行われています。

## 関連情報

# 井根口池

(いねぐちいけ)



上流側より見た堤体・洪水吐



制波工には工事現場で出た自然石を埋め込んでいる。

## ため池の概要

### □ため池の所在地

兵庫県篠山市

### □ため池の特徴

井根口池のある今田町上小野原地区は加古川水系の最上流部に位置する農村で、地形勾配は急峻で集水面積も狭いため常に干ばつに見舞われてきました。

ため池の完成により当地域の農業は発展し、明治の初めには水田11町・畑7町8反であったものが水田28町6反、畑9反となりました。

現在では、水稻の他、丹波特産の黒大豆が栽培され、当地域の農業に無くてはならない存在となっています。

平成18年に改修が行われ、工事で出た大量の自然石を石張りに流用したことにより美観的にも優れた池に生まれ変わりました。

## 関連情報

# 大城池

(だいじょういけ)



全景



余水吐から流れ落ちる水

## ため池の概要

### □ため池の所在地

兵庫県洲本市

### □ため池の特徴

大城池は125haの水田を潤すため池で、周囲の山々の風景と溶け込んだ非常に秀逸な景観をもっています。水を満々と湛えた姿は非常に雄大で、特に、岩盤を利用した余水吐から流れ落ちる水は“幻の滝”ともいわれるほどです。

この地域は、元来高燥で水利の便が悪く大半を井戸水に頼っており、1日四百回もの水のくみあげが必要で、さらに干天が続けば井戸水が枯渇するという状況でした。

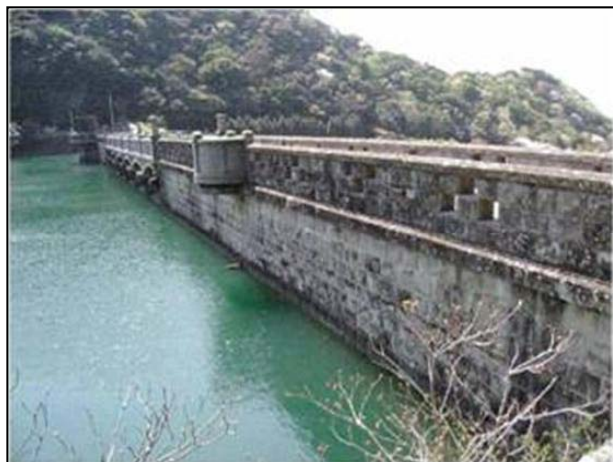
明治45年にため池の構想が作られた後、先人たちの苦勞の末、昭和3年に貯水量約100万m<sup>3</sup>の土堰堤の池として築られました。

大城池造成により地域の農業は大きく発展し、その築造に貢献した山口恒雄翁を感謝するお祭りが毎年開催されています。

## 関連情報

# 上田池

(こうだいけ)



石切布積の堤体と石造の高欄



下流から見た堤体  
直線重力式粗石モルタル工法

## ため池の概要

### □ため池の所在地

兵庫県南あわじ市

### □ため池の特徴

上田池は、昭和7年(1932年)頃築造され、国内初の直線重力式粗石モルタル工法による堰堤を持つため池です。

堰堤は布石積み豊かな自然に溶け込む美しさと、農業土木技術の歴史的価値を併せ持ち、「兵庫の近代文化遺産」にも指定されています。下流側から見た堰堤は、中央に洪水吐越流部を配し壮大で美しく、遠目からも目を引きます。

上田池は山あいの最上流部に位置し、桜の隠れた名所でもあり、また日本古来からの植物が保全され、鴨などの水鳥の飛来地になっています。

上田池は538haをかんがいする大規模なため池で、兵庫県内で最も農業が盛んな三原平野の水源として重要な役割を担っています。この地域では米、たまねぎ、レタスなど、三毛作が行われ、特に淡路タマネギはブランド品として確立されています。

## 関連情報

# 長倉池

(ながくらいけ)



全景(手前側に散在する玉丘古墳群)



朝焼けの長倉池(日の出とコハクチョウ)



北帰行に備え集合したコハクチョウ



晩夏から初秋のミズトラノオの群生

## ため池の概要

### □ため池の所在地

兵庫県加西市

### □ため池の特徴

長倉池は、周辺に農業用水を供給する皿状のため池で、隣接する牧草地、玉丘史跡公園や周囲の山林と一体となり、特に朝方牧草地から昇る朝日や西の山に夕日が沈む時の景観は他に類を見ないすばらしさです。

加西市は、隣接する小野市とともにコハクチョウの越冬南限の地であり、毎年稲作終了後の池干しが終わり、水が溜まり始めると付近の池で越冬していたコハクチョウが飛来し、北帰行までの集結地となります。

また、長倉池は近畿地方におけるミズトラノオの代表的な群生地となっており、池周辺はカスミサンショウオ、ニホンアカガエル、ヒメナエ、ゴマクサなどの貴重な動植物が生息しており、農業高校等の環境研究活動の拠点のひとつとして利用されています。

## 関連情報

# 昆陽池

(こやいけ)



全景



野鳥の宝庫であり、渡り鳥の立ち寄り場となっている。

## ため池の概要

### □ため池の所在地

兵庫県伊丹市

### □ため池の特徴

昆陽池は、奈良時代(731年)に築造された歴史あるため池で、従来からカモ類の飛来地となっています。

昭和42年から市が主体となって公園として整備を行い、現在は、市民の憩いの場として、市民からの寄付も受けつつ、樹木や水生植物の植栽や野鳥の給餌池設置、市民参加によるビオトープ整備などの自然保護活動が展開されています。

また、平成2年に伊丹市昆虫館も開園し、昆陽池には、市内外から多くの人たちが訪れています。

## 関連情報